

営農ウィークリーNEWS

竹林でノメイガ類の防除時期を迎えています!!!



▲ノメイガ類と思われる卵塊



▲ノメイガ類と思われる卵塊から孵化した幼虫



▲キモンホソバノメイガ(成虫)

近年、京都市西京区、伏見区、長岡京市の竹林において、外来種であるシナチクノメイガなどのノメイガ類による被害が多発しています。

6月9日京都府農林水産技術センターがノメイガ類の発生調査を行った結果、ノメイガ類と思われる卵塊や孵化した幼虫が確認されました。

このことから、当JA管内において、ノメイガ類の幼虫の発生が始まったと考えられます。

生産者の皆様におかれましては、竹林内の葉の変色や食害痕、幼虫の発生状況などをこまめに確認していただき、被害を発見した場合は速やかに防除を実施していただきますようお願いいたします。

TAC information

植物防疫法第29条第1項に基づき シナチクノメイガに使用できる防除薬剤の紹介



現在、シナチクノメイガに登録のある農薬はありませんが、植物防疫法（昭和25年法律第151号）第29条第1項に基づき都道府県が行う防疫措置として、タケ類（たけのこを収穫するもの）のシナチクノメイガに対する防除には、当面の間、「エスマルクDF」を使用することができます。

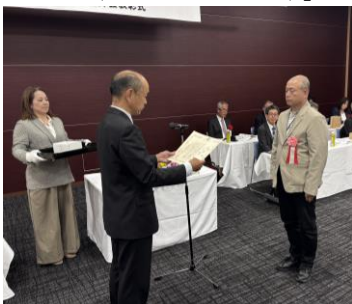
農薬の登録内容（適用病害虫以外の希釈倍数、使用液量、使用回数等）を遵守することで、出荷停止等、流通に支障が生じることはありません。

なお、植物防疫法第29条第1項に基づく措置が終了した場合には、文書及び京都府病害虫防除所のホームページ等でお知らせされますので、最新の情報を確認してください。

京都府春季花き品評会表彰式



▽京都市長賞
月本雅治さん（洛南）
「バラ（ジュミリア SP）」



▽京都市長賞
原田亮平さん（向島）
「ペゴニア（スプリント）」



▽京都市花き振興協会長賞
佐々木卓さん（洛南）
「千鳥草」



6月12日 京都 JA ビルにて、2026年度春季花き品評会表彰式が開催されました。

品評会は、5月13日に株式会社大原総合花き市場にて開催され、総出品点数は54点（切花・枝物類38点、鉢物・苗物類16点）でした。

当JAからは、3名の生産者が特別賞を受賞されました。
受賞された皆様、おめでとうございます！